

図8 セグメント表面熱流束の時間変化 時間変化におけるセグメント単位面積当りの熱量を示す。  
Heat flux change on segment surface by elapsed time

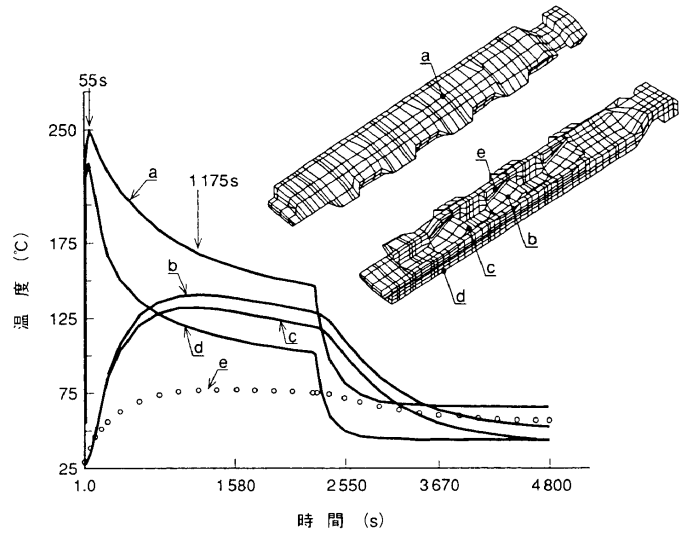


図9 セグメント温度時刻歴 帯鋼巻始めから巻終りまでの時間におけるセグメント各部の温度を示す。  
Temperature change on segment surface by elapsed time

冷却水量で冷却効果があることを確認した。今後ストリップキャスタ用巻取設備として安定した巻取りが可能となり、この分野で

の活躍が大いに期待される。

開放特許・新案

遠心力式投雪装置

実用新案登録 第 2077165 号  
発明者 下関造船所 坂井健次  
下関造船所 吉田政美

従来の除雪機はオーガ、スノーブローア、排雪口及びオーガとスノーブローアを同軸で駆動するモータとで構成されていたが、オーガとスノーブローアが同軸駆動となっているため、雪質、雪山への押込み力、押込み深さによってオーガへの負荷が大きくなると駆動モータの回転低下によるスノーブローアの回転低下から、雪ツブで給雪ホースが閉塞するという不都合があった。

本考案はかかる不具合を解消する目的でなされたもので、スノーブローアと連動するアシストブローを設け、アシストブ

お問合せ先

三菱重工業株式会社  
技術本部特許部特許企画グループ  
〒 220-8401 神奈川県横浜市西区みなとみらい三丁目 3 番 1 号  
☎ 横浜 (045) 224-9070  
FAX 横浜 (045) 224-9908

ロワの排気口と除雪機の排出口とを二重円筒で構成し、且つその二重円筒の合流部はアニュラスリットを形成する合流管で合流させるとともに、オーガとスノーブローアとの駆動モータを独立させたことを特徴とする遠心力式投雪装置。

図面の簡単な説明

図1は本考案の一実施例を示す正面図、図2は同平面図、図3は同側面図、図4は合流管の縦断面図である。

